

### 第3回 広報アンケート結果

#### 1 対象者

日立市インターネットモニター登録者

登録者数	回答者数	回答率
318人	52人	16.35%

#### 2 調査期間

平成29年2月20日（月）から3月10日（金）までの18日間

#### 3 調査結果 ※構成比（%）は、小数点第3位を四捨五入しています。このため合計が100%にならない場合があります。

##### (1)年齢及び性別

区分	男性	女性	合計	構成比
10代	0人	0人	0人	0.00%
20代	1人	1人	2人	3.85%
30代	2人	5人	7人	13.46%
40代	4人	1人	5人	9.62%
50代	2人	7人	9人	17.31%
60代	13人	2人	15人	28.85%
70代以上	14人	0人	14人	26.92%
合計	36人	16人	52人	100.01%
構成比	75.00%	26.92%	100.00%	

##### (2)市報に関すること

問1 市報1月1日号（新春号）についておたずねします。

##### ① 新春号をご覧になりましたか？

読んだ	45人	86.54%
読んでいない	7人	13.46%
計	52人	100.00%

##### ② 新春号は、「スポーツ・文化・防災機能を備えた総合体育館 池の川さくらアリーナ」と題して特集記事を掲載しました。

表紙の印象はどうでしたか。（一つ選択）

良かった	19人	42.22%
普通	20人	44.44%
悪かった	4人	8.89%
その他	2人	4.44%

計	45人	99.99%
---	-----	--------

③ 特集記事のテーマはどうでしたか。(一つ選択)

興味が持てる内容だった	25人	55.56%
普通	14人	31.11%
興味が持てない	4人	8.89%
その他	2人	4.44%
計	45人	100.00%

④ 特集記事の内容、レイアウトの印象はどうでしたか。(一つ選択)

分かりやすかった	17人	37.78%
普通	25人	55.56%
分かりにくかった	2人	4.44%
その他	1人	2.22%
計	45人	100.00%

⑤ 特集記事以外の記事についてお伺いします。

ア 記事の分量について、あてはまるもの一つを選んでください。(一つ選択)

多すぎる	5人	11.11%
適当である	34人	77.55%
もっとあっても良い	4人	8.89%
その他	2人	4.44%
計	45人	100.00%

イ レイアウトはどうでしたか。(一つ選択)

読みやすい	8人	17.78%
普通	31人	68.89%
読みにくい	6人	13.33%
その他	0人	0%
計	45人	100.00%

問2 市報1月20日号についておたずねします。

1月20日号では「子育ては日立市で！大切なのはママが笑顔でいられること」と題して特集記事を掲載しました。

① 表紙の印象はどうでしたか。あてはまるもの一つを選んでください。(一つ選択)

良かった	19人	43.18%
普通	21人	47.73%

悪かった	3人	6.82%
その他	1人	2.27%
計	44人	100.00%

【主な意見】

- ・子育ては重視されているんだとよ、という市の発信になったと思う。高萩市は、市長、みずからが子育て政策を発信しているが、日立はそれが見えなかったのもので、こういう表紙はいいですね。(40歳代)
- ・特集で何を取り上げたいのかわかり表紙だった。(40歳代)
- ・日立市が子育てに積極的に取り組む姿勢は大いに理解します。しかし、特集記事と表紙を一体化するのはどうかな？と思います。表紙は日立市の顔であり、他都市には無い特徴を年間を通じてPRすることが市民には誇りをそして近隣から日立に住みたいという住民を呼び込む事に繋がるのではないのでしょうか。(日立の桜、鶯の岬、お岩神社、日立港、神峰動物園等の観光、各企業に働く人達等)  
(70歳代以上)

② 特集記事のテーマはどうでしたか。(一つ選択)

興味が持てる内容だった	26人	59.09%
普通	13人	29.55%
興味が持てない	5人	11.36%
その他	0人	0%
計	44人	100.00%

【主な意見】

- ・自分たちは子どもはいないが、よく聞く内容であり、実際、こういう記事にすると、市内の方々にも浸透し、子育てがやりやすくなるのでは？協力体制が整うのでは？と感じた。(40歳代)
- ・サポートの一覧があればよかった。記事では分散している。また「困ったらここに連絡」という部署の掲載もあればよかった。(70歳代以上)
- ・子育ての環境や支援制度など、居住する大きな選択ポイントでもあると思うので、どんどん広報して欲しい。(50歳代)

③ 特集記事の内容、レイアウトの印象はどうでしたか。(一つ選択)

分かりやすかった	19人	43.18%
普通	22人	50.00%
分かりにくかった	2人	4.55%
その他	1人	2.27%
計	44人	100.00%

④ 特集記事以外の記事についてお伺いします。

- ア 記事の分量について、あてはまるもの一つを選んでください。(一つ選択)

多すぎる	3人	6.82%
適当である	36人	81.82%
もっとあっても良い	5人	11.36%
その他	0人	%
計	44人	100.00%

イ レイアウトはどうでしたか。(一つ選択)

読みやすい	9人	20.45%
普通	31人	70.45%
読みにくい	4人	9.09%
その他	0人	0%
計	44人	99.99%

問3 市報に対するご意見があれば、記入してください。

- ・困ったときは市報を見ればよい、そんな紙面づくりをこれからもお願いします。(70歳代以上)
- ・特集の内容に対する認識のコメントや市民の意見をいれると、一方通行の情報でなく多少双方向になる。(60歳代)
- ・市民の声、読者の声をもう少し反映してもいいかな？あとは、市報からネットの世界にLINKさせて何か発信するとか？(40歳代)
- ・いつも結構ちゃんと読んでます。なかなか良い情報があるので。(30歳代)
- ・全戸配布して欲しい。市内の動きを掲載して欲しい。紙面に躍動感が感じられない。(50歳代)
- ・レイアウトをもう少し変えて欲しい、募集の欄など特にわかりにくく、友達と相談して、こういう意味だよ、といつも理解するような感じ。(20歳代)

問4 あなたは、ケーブルテレビJWAY「ひたち」チャンネルが見られる環境にありますか？

ある	23人	44.23%
ない	29人	55.77%
計	52人	99.99%

問5 市政の今シリーズ③「商工業振興の取組」の印象はどうでしたか。(一つ選択)

良かった	6人	26.09%
普通	1人	4.35%
悪かった	1人	4.35%
放送を見ていない	15人	65.22%

計	23人	100.01%
---	-----	---------

問6 市政の今シリーズ④「子どもたちの未来を築く 特色ある日立市の教育」の印象はどうでしたか。(一つ選択)

良かった	4人	17.39%
普通	2人	8.70%
悪かった	1人	4.34%
放送を見ていない	16人	69.57%
計	23人	100.00%

問7 行政放送に対するご意見があれば、記入してください。

- ・良い放送もたくさんあるのですが、リピートが多いと番組表を見たいと思わなくなってしまう。再放送が多すぎます。(60歳代)
- ・市報に乗る番組案内が、横に拡大すればわかりやすいのですが。(70歳代以上)
- ・行政放送だから棒読みでも素人でも良いのですか？政放送に出る方もアナウンス力を高めないと聞いていて辛いですよ！だから JWAY があるのに足を引っ張って観る方がいないのですよ！(50歳代)
- ・昼間の放送に工夫していただければ。(60歳代)

問8 FMひたちを聞くことがありますか。

聞く	28人	53.85%
聞かない	24人	46.15%
計	52人	100.00%

問9 「課長さんいらっしゃい」の印象はどうですか？

良い	2人	7.14%
普通	11人	39.29%
良くない	0人	0%
放送を聞いていない	15人	53.57%
計	28人	100.00%

問10 FMひたちに対するご意見があれば、ご記入ください。

- ・市政の紹介ばかり？(60歳代)
- ・車に乗るときしか聴いていない。たまたま議会の中継を聴いたことがあり、関心のあるテーマ(環境・エネルギー)だったので、停車して最後まで聴いた。(70歳代以上)
- ・主に朝しか聞いていない。同様に夜だけの人もある。同じ内容・録音で良いから、市政については朝晩流して欲しい。(50歳代)

・コミュニティ放送としての役割いろいろ大変だと思うがなくてはならないものと思います。今後がんばってください。(40歳代)

・なかなか頑張っていると思います。一芸に秀でた市民教授さんや、ひたちのまちを良く知っているまち案内人なども登場していただければ良いと思います。

(60歳代)

問 11 今後、市報や行政放送、FM ひたちなどで取り上げてほしい行政情報は何か？(あてはまるもの全て選択)

まちづくりの政策に関すること	26人
防災に関すること	21人
高齢者向けの施策に関すること	21人
子育てに関すること	15人
小・中学校の様子に関すること	16人
若者の活動に関すること	16人
環境政策に関すること	13人
道路の整備に関すること	20人
地域や交流センターの活動に関すること	19人
市民のボランティア活動に関すること	16人
日立市の魅力に関すること	27人
その他	5人

以 上